

## 2025 年度

### ニチキッズ青い森保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月7日（水）～2月13日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月23日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人一人の気持ちに寄り添い、子ども主体の保育を実践することが出来た。又、研修や会議で「子ども主体の保育とは何か」を考える時間を作り、保育理念に基づいた保育を行うことが出来た。
子どもの発達援助	子ども一人一人の発達に合わせた保育を行っていく為、個々の年齢や発達に合わせた関わりや援助について全職員で都度話し合い、環境設定を行い心と体の成長へと繋げるように取り組む事が出来た。
保護者に対する支援	送迎の際の保護者とのコミュニケーションを大切にし、共に子どもの成長を喜び合い信頼関係の構築に努めた。又、保護者参加行事を増やし日頃の子どもの様子を見てもらい成長を感じて頂いた。
保育を支える組織的基盤	外部研修・園内研修を毎月実施し不適切保育、事故、虐待、感染症などについて知識と技術の習得に努めた。特に今年は“子どもの最善の利益”を多方面から捉える機会が増え、園内研修を通して学びあい、子どもの主体性を全職員が意識し、実践を行うことが出来た。
総評	
今年度は、テーマを【おもいっきり大冒険】として地域資源の活用、地域交流を積極的に行ってきた。近隣の小学校やデイサービスへの訪問、地域の商店街での買い物体験では多世代の交流を深める事ができた。地域資源を積極的に活用する事で、子どもたちは園内では得難い多様な体験を重ね驚きや発見を全身で感じる事が出来た。次年度もさらに「子ども主体」の保育の学びを深め、さまざまな経験を通して子どもの「やってみたい」思いを大切にしながら、子どもたちがいきいき過ごせる環境づくりをしていきたい。	